



学校教育目標
自分や相手を大切にし、
考えて行動する名瀬っ子

名瀬小だより

7月号

令和5年6月30日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



小さな挑戦

校長 中嶋 孝宏

名瀬リンピック(運動会)は、新たな仲間と共に、一生懸命練習をして、全力で競技や演技をして素晴らしい取組となりました。そして6月に入り、この6月の取組が今後につながるとも大切な月となるので、「小さな挑戦」をしてみようという話を子どもたちにしました。毎日の授業で「自分の考えを思っているだけでなく発言してみよう」「人の話をもっとよく聞いてみよう」「朝、自分からあいさつしてみよう」など、今、自分が取り組んでいることに「ほんの少しのもうちょっと」を足してみようということです。6月は梅雨の影響により、気候が不安定で湿度が高く、気圧も変化するので過ごしにくい時期です。しかし、アジサイがきれいでしっとりとしていて、気持ちを何かに集中するには好都合な季節でもあります。

子どもたちは、学年ごとに様々な活動を展開する時期でもあり、その一つひとつの活動に向けた準備も含め、よく取り組んでいます。6年生は東京見学に行きました。午前中はほぼ班活動となりましたが、「相手の気持ちを考えた行動」ができる班が多く、成長を感じずにはいられませんでした。自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも考え、班全員が楽しく活動するためにはどうしたらよいかを考えられる人が増えてきていること、とてもうれしく、また、たくましく思います。これからの子どもたちの更なる成長が本当に楽しみです。この自分なりの「小さな挑戦」を7月、そして夏休みも続け、「自分なりのやりたいこと」につなげてほしいと思います。ワクワクする7月、夏休みへとつながればと思っています。

先日、地域の方からご連絡をいただきました。放課後公園で遊んでいた子どもたちがボールを車道に出したとき、通りかかった地域の方にボールがいったところ、「ボールを出した子どもだけではなく、そこにいた皆で『すみません。』と声をかけてくれました。あんなに素直に気持ちを伝えてくれて本当にうれしくなり、学校へ連絡しました。」とのことでした。きっとそこにいた子どもたち全員でとっさに「すみません。」と言いにいったのでしょう。子どもたちの素直な気持ちが地域の皆様に伝わった瞬間でした。より安全に放課後の公園等で過ごせるように保護者、地域の皆様、引き続き見守っていただければと思います。よろしくお願いいたします。